

授業改善

カリキュラムマネジメントの確立

[取組事例] 佐伯市立鶴谷中学校、生徒数521名、佐伯教育事務所管内

ポイント

総合的な学習の時間と各教科等における付けたい資質・能力が相互に関連しているかを、各学年の単元配列表で確認し、教育課程に掲載することにより付けたい資質・能力を意識したカリキュラム・マネジメントを推進

1. 取組の内容

◆付けたい資質・能力を、総合的な学習の時間を中心に各教科等と関連付けて位置付ける

月	平成28年度				中学校第1学年 教科単元配列表												年間時数
	4月	5月	6月	7-8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
国語	1字びを聞く ・言葉に出会うために ・野原はうたう ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	1字びをひらく ・言葉の向こう ・手紙のしおり ・書き留める ・本と出会う ・調べ ・情報を正確に聞き取ろう ・続けてみよう ・まとめ	140 (156)			
社会													105 (117)				
数学													140 (156)				
理科													105 (117)				
総合	<p>「佐伯市の職業を調査する」(21時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐伯独自の職業について調べる。 ○調査した内容を気候や産業などの面から分類し、共通点や相違点を調査する。 ○職業調べ発表会に向けて、わかりやすく発表する方法を工夫する。 ○全校に向けて職業調べについて発表する。 <p>「仕事」とはどんなものか(14時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験学習に向けての調査。(体験志望理由を明確にする) ○資料を集め、業種についての基本情報を得る。 ○事前訪問計画を作成する。(質問事項、自己紹介、服装、マナーなど) ○職場体験学習の実施 ○職場体験学習の整理(礼状作成。活動をまとめ、ポートフォリオ作成) <p>「佐伯市の造船業とはどんなものか」(21時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐伯市の造船業について調べる。 ○船長など、船舶関係者の講話を聞く。 ○造船所見学(実際に造船所を見学し、造船業の実態を体験する) ○造船技術に関する実験体験(造船業に關係する実験を体験する) ○調査・体験して得た情報をまとめる。 												50 (56)				
道徳													35 (39)				
特別活動													35 (39)				
音楽													45 (50)				
美術													45 (50)				
技術家庭													70 (78)				
保健体育													105 (117)				
外国語													140 (156)				

2. 取組についての評価等

- (1) 学習内容、学習方法、体験活動等を複数の教科・領域で関連付けすることにより、各教科に留まりがちな児童生徒の学びをより横断的、関連的に深めることができる
- (2) 一つの体験や学習内容を複数教科等で活用することにより、新たな体験や教材の追加等を抑制でき、カリキュラムのスリム化を図ることができる
- (3) 作成に当たり、教員が学校の教育目標に基づくカリキュラム全体で児童生徒を育てる意識が高まり、見通しのある実践につなげることができる